郡家コミュニティセンター 市長と語る会

日 時：令和 6 年 8 月 15 日（木） 午後 6 時 00 分～7 時 00 分

場 所：郡家コミュニティセンター

参加者：15 名

担当者：市長、地域担当職員 窪田（子育て支援課）、岩田（会計課）、秋山（農業委員会事務局）、塩田（秘書課）

1. あいさつ

（所長）

ただいまから「令和 6 年度みんなでまちづくり。市長と語る会」を始める。2 月に実施して半年になる。本日は 1 時間程度となっているので、意見交換の時は忌憚のないご意見をよろしく願います。最初に、山川会長からあいさつを申し上げます。

（会長）

盆のお忙しい時期、暑さが半端ない時期である。早朝は 1 週間前と違って結構涼しいと思ったが昼間は暑い。梅雨明けから丸亀は全くと言っていいほど雨が降っていない。今日こうして松永市長を迎えて語る会ということで、テーマを 2 つほど用意させていただいているが、テーマ以外のことでも地域のことでお気づきのこと、忌憚のない意見でざくばらんな穏やかな雰囲気話ができたらと思う。

（市長）

皆さん、こんばんは。会長からあったように暑い中、そしてまたお盆のお忙しい中、こうしてお集まりいただき感謝申し上げます。郡家コミュニティの皆様には、日頃から丸亀の市政運営に対して、ご協力とご支援、またご理解をいただいております、心から感謝を申し上げます。今日は忌憚のない意見をどんどん言っていただければありがたいと思っている。

2. テーマに関する意見交換

（所長）

それでは意見交換に入る。コミュニティから 2 点ほど質問事項を出しているが、その前に市長から今年度の重点プロジェクトについて、説明をお願いしたいと思う。

（市長）

今年度の予算の特徴を市政報告の形でさせていただく。私が市長にさせていただき 4 年目、最後の任期の年となっているが、一生懸命取り組んでいる。皆さんもご存じの通り、日本は人口減少時代に入っており、少子高齢化が問題になっている。特に地方、四国は人口の減少の度

合いが大変大きい地域であるが、一生懸命に地域の活動をやっていけば、いつかはまた子供がたくさん生まれる時代が来る。それまで私も何らかの形では働いていこうと考えているところである。

今年の予算は、6月議会が終わって708億数千万円。私が市長になって3回予算を組んだが、毎回過去最高になっている。お金を使い過ぎと言われたりしているが、国・県に予算要求に行き、7月も11日間を東京で過ごし、国土交通省と財務省の2つを中心に丸亀の来年度予算のいろんな要求をして参った。丸亀の予算の8割以上は国・県からいただいてやっている。

ボートレースの売上が、コロナ禍においてものすごく好調になり、コロナの行動制限が解けた後、横ばいにはなったが、ありがたいことに伸びている。また、この8月27日からSGボートレースメモリアルという大きいレースを開催する。売上予算は7日間で180億円。来年の5月にはオールスター戦というSGレースが決まった。売上が高いと本市への収益も高くなるため報告しておく。

予算の中で一番大きいのは投資的経費で、200数十億が建設費。14の学校関係の建設の予算を今年度取っている。一番大きいのは、城東小学校が約50億円。学校関係は今から5、60年前に、一挙に建てた鉄筋コンクリートの校舎が、建て替えなければいけない時期になっており、約15年かけて建て替えていく。これは躊躇なくやっていこうと思っている。

問題は、資材不足による資材の高騰。また、建設業界も働き方改革で規定の勤務時間を守ろうということになって、全国的にも建設が予定通り進んでいない。この間も本市市民会館が5ヶ月遅れるという発表をしたところである。人手不足と資材不足が顕著に現れている中でも、丸亀市としては、特に学校関係は進めていこうと考えている。

私は、まちづくりは人づくりが一番肝心だと、市議会議員のときからずっと思っており、今年の4月に、協働推進部という新しい部を作った。今は多様性の時代で多くのニーズがあるが、職員数を増やすわけにもいかず、課題解決として丸亀市だけでは限界があるのも確かである。そういった部分で、住民の方々、コミュニティ、自治会などの市民と行政がひとつになって、協働しながら元気なまちづくりに取り組んでいきたいと思っている。もちろん地元や丸亀市を応援してくれる企業、団体があれば協働してやっていく形である。本当にいろいろな企業から丸亀市の課題解決にたくさんのお金を出していただいているし、地元の大倉工業、四国化成、そして今治造船はじめ、JR、郵便局などいろんなことをしていただいている。トリドールホールディングス、丸亀製麺も本当に丸亀市のためによくしてくれていることを報告する。

その他の今年の特徴は、自治会費の1件当たり300円の補助金を今年から600円にした。それと自治会長は自分のお金を出しているいろいろされている部分もあると思う。自治会長費を、若干ではあるが1.5倍ぐらいに上げさせていただいた。これらも“まちづくりは人づくり”の一環だと思っていただければありがたい。

1月1日に能登で大地震があった。七尾市は50年前から姉妹都市であり、1月5日から7月1日まで約半年、交代で職員3人を派遣した。土日、祝日も職員は必ず七尾市で働いている形をとらせていただいた。これは七尾市からも本当に感謝をいただいたところである。能登の

状況について報告を受けている中で、改めて地域の人達の繋がりが一番大切だと感じ取った。そういったことも含め、やはりまちづくりは人づくりであるので、しっかりと取り組んでいこうと考えている。

最後に、教育委員会で「人づくり石垣プロジェクト」を今年度から5年間行うことが決まった。今年の8月から、6年前に崩れた丸亀城の石垣を積み上げていくことになり、丁寧に1つずつ石垣を積み上げることになぞらえている。

3年4ヶ月のコロナ禍で休校がたくさんあった。行動制限が解かれても、子供の不登校が約2倍になっている。早く何とかしようということで、講師の先生方、支援員、補助員、スクールソーシャルワーカー、その他いろんな相談業務、全部で51名を市で雇うことにより、担任・副担任が自分の生徒達と少しでも多く接することができるようにする、ということが一番の目的である。ちょうど1年前に教育長と話したときに、約1億2000万円の予算がついても、実際になり手がいないのが現状と説明を受けた。教育長はじめ、先生方が1年かけて1人ずつ口説いて、すでに40数名の方々を雇っていると聞いている。今の丸亀の現状を伝え、もう1度子供たちのために一肌脱いでほしいと、退職後の先生方にもお願いをして、講師をやってもらった状況になっている。今年の秋までには、目標の51名になると考えている。

このような形で、丸亀の元気なまちづくりに国・県からしっかり予算を取って、ポートルースも売り上げがいい形になるように頑張っていて、そして今言ったような人づくりを中心とした元気なまちづくりを、しっかりと取り組んでいこうと考えている。

(所長)

大きく分けて重点プロジェクトを3つ。予算を学校関係の再建築に当てる、まちづくり人づくり、人づくり石垣プロジェクトのお話をいただいた。

3. 事前質問等についての意見交換

(所長)

今のお話に関連させても結構であるが、最初に、コミュニティから質問したこの度郡家地区にできる公園の整備管理について。

(会長)

郡家校区内に公園が整備される。都市計画課からはだいたい話を聞いており、すでに公園ができている飯山南コミュニティも見せていただいた。この時期、屋外の公園は昼間使用されていない。夏休みに子供たちが活用できるような公園が欲しい。市の担当職員に話をさせていただいたら、突出した公園を作るのは難しいとのこと。ただ要望は上げていただいて結構ですということは聞いている。具体的な話を私と副会長で要望もしたが、地元の意見がすごく多い。令和8年3月を目途に整備していただけると聞いている。管理面について、コミュニティがど

ここまで管理したらいいのか。飯山南の話は聞いているが、市からお聞きしたい。

(市長)

郡家地区の公園整備は、昔からずっと思っていたところである。会長を筆頭にすぐ取り組んでくれて本当にありがたく思っている。突出した公園はできないと言われたとのことだが、要望は出していつてもらいたい。例えば猛暑対策の日除けなどで、東汐入けんこう公園も全体的な設計については、まだ出来ていないが、要望があり一部ベンチに屋根を設置する。これだけの炎天下でも遊ぶ子供はいる。

個人的に思うことではあるが、小さくてもドッグランが付いている公園は、必ず人が集まっていると聞く。私も犬を飼っているが、ドッグランあれば行くと思う。人が集まるという面ではそう思っている。夏場について、費用がかかるかもしれないが噴水や水盤など水遊びができるようなところがあれば子供は遊ぶと思う。コミュニティでの管理もなかなか難しいが、最近強く思っているところである。

地元で管理してもらおうという発想について、前回は話させていただいた。市が管理している公園はどうなっているかという、花火をしては駄目。バーベキューをしたら駄目、火を使ったら駄目。ボール遊び、サッカーボール、キャッチボールも駄目。丸亀市は何もできない公園になっている。なぜかという、最初はそうではなかった公園が、危険だからやめてほしいという要望が市民から強く上がってくると、行政は使用禁止にしていって、結局はあまり人が集まらない公園になってきているのが現状だと思う。

例えば、郡家コミュニティが管理する公園という形になって、コミュニティ会長が責任者となれば、地元からバーベキューや花火はやめてくれと言われても、それぐらいはいいと思うと会長から言っただけならば、そんなに大きな反対運動にはならないと思う。少し広いところがあれば、ボールを蹴ったり、軽いキャッチボール程度は、地域毎に認めることができる。管理面で一番の問題は、除草についてである。

(コミュニティ 1)

以前、ボール遊びによりフェンスが壊れ、周辺も困っていた。最終的にはボール遊びが禁止になった公園もある。地元以外の方がそういうことをする。花火は、アスファルトは焼けるためいけないと思う。

(市長)

それはどこの公園か。

(コミュニティ 1)

大池の横。そういった迷惑した経緯がある。

(市長)

もちろん迷惑があったので利用が変わっていった、ということはあると思う。ボール遊びで思ったのは、飯山にある東小川児童センターは、公園ではないが上も網のようなフェンスを張

って、ボールが飛び出ないようにしている。そして飯山南の公園は出来上がったが、暑い日はあまり人が来ないので、どんな公園にしたらいいか協議していると聞いている。

(会長)

郡家小学校の4,5,6年生にアンケートを取ったら、ボール遊びできる公園が丸亀市にないので、ボール遊びをしたいという要望があった。

(市長)

その辺を工夫していただければ。儉約して作って、結局使われなかったら意味がない。アーバンスポーツパークは、炎天下でもやっており、陽が落ちたらさらに人が増えている。スケートボードはオリンピックで金をとって、バスケットも大活躍したので。夜9時までナイターをつけているので、ありがたいことにたくさんの人に利用していただいている。

(コミュニティ1)

届け出なしで使用できるのか。

(市長)

はい、無料で使用できる。バスケットボールも置いているが、利用者が上手く交代して使用してくれている。スケートボードも、下り坂のところを子供たちはスーッと滑っている。

(所長)

ボール遊びが一番の要望ということで、時間のこともあるので公園の整備、管理についてはここまでとする。次に、敬老会の実施方法について。

(会長)

敬老会について、コロナ禍3年間はどこも開催していなかった。昨年度から市は敬老会を復活するというので、市長が選挙期間中におっしゃっていた敬老祝い金を復活した。高齢者を敬うという姿勢をすごく感じた。敬老会ができるようになって、少しイメージと違うのが、各コミュニティで敬老会を主催する形で、予算は市から出る。小さなコミュニティならできると思うが、郡家は対象が約1,100人。コミュニティで企画するのはいいが、その案内を1,000人以上に出すのは大変である。以前は市がしてくれていた。

(市長)

敬老会は全部のコミュニティで丸亀市が主催でやっていたのか。

(塩田課長)

かなり前ではあるが、敬老祝い金を敬老会に併せてお配りしていた時もあった。その時は祝い金を敬老会の会場で受け取れるという案内を、市が出していた時代もあった。

(窪田課長)

敬老会で敬老祝い金を配っていた。記念品に係る敬老会のお金は、委託という形で地域の婦

人会や実行委員会に人数割りで出していた。敬老会の記念品は、市が直接お送りすることになったので、現在は集ったり会を催したりする費用として一律 50 万円という金額になっている。

(会長)

その代わりコミュニティで企画実施するようになった。企画は出来るが問題は案内の仕方。名簿は高齢者支援課が、「お貸ししますが個人情報なので厳重に取り扱いしてください」となっている。

(市長)

敬老祝い金は復活した。以前は 77 歳で 1 万円のお祝い金として出したものを、80 歳を復活させて作った。それと敬老のお祝いの品を、毎年 80 歳以上全員に約 1500 円の品物の詰め合わせを送っており、喜ばれている。

敬老会については、私も川西コミュニティで毎年参加していた。案内の方法は存じてないが、議員時代は来賓として必ず行っていた。幼稚園や保育所の子供たちが来て何かを見せたり、大人が大正琴などの催し物をしたりして、最初の頃はお弁当食べながら 30 人、40 人ぐらいの方々が来ていたが毎年減ってきて、私が市長になる前には数人になってしまった。途中でお弁当食べるのをやめて、お菓子とお茶だけになった。郡家では集まっていたか。

(コミュニティ 2)

200 人ぐらい集まっていた。役員も含めると 230 人くらい。

(会長)

敬老会の開催日は、年度内であれば各コミュニティで調整していいと聞いている。

(コミュニティ 2)

郡家コミュニティでは長い歴史があって昔は初めて敬老会に来る方の写真を撮ってあげていた。また実施したい。今は初めて対象になった人(80 歳に)の名簿がでない。

(塩田課長)

会長も先ほどおっしゃったように貸し出しはできる。

(会長)

貸し出しはできるが、個人情報なので取り扱いが非常に厳しい。何か個人情報に関するトラブルがあっても市は関与しない。

(コミュニティ 2)

案内を出したら、どこで調べたのかと言われる。

(会長)

市からお借りしたと言っていいのなら、それなら市に文句を言うとなる。

(コミュニティ 1)

そういった一個人の方のために伝統をなくすのはいけないと思う。

(会長)

基本的に郡家は敬老会をしたい。200人も集う会。お茶とお菓子だけでも、こども園の子供たちに踊ってもらうなど何か催しをしたい。

(市長)

要は名簿があればいいということ。

(会長)

それ以外となると、個人的に1,100人に送ることはできないため、郡家の広報紙や回覧で対応するしかない。

(窪田課長)

令和5年度に再開したときに、11地区が実施している。内容は集まって踊りなどの発表を見る処と、地域によっては高齢者訪問をしているところがある。敬老会をしなければならないということではなく、敬老事業をすればお金がでる。今年は9地区が実施する予定。

(市長)

高齢者支援課によく言っておく。

(会長)

去年は他のコミュニティでペットボトルの数など細かく調べられたと聞く。

(窪田課長)

担当課に聞いてみると、よっぽど敬老事業とずれていなければ駄目ではない、と聞いている。

(塩田課長)

会の時の役員やスタッフの飲料代は、今までは対象外とやっていたが、今年度からはOKになった。

(会長)

お金は共同募金などがある。逆に貯まっていけばかりでも良くないと思っており、何か還元したい。以前のように集まって、元気な様子を確認することも大事。

(市長)

たくさん集まっていると聞いて驚いた。敬老会の話は十分今日お聞きできたので、私からも話はしておく。

(所長)

時間も迫っているので、先ほどの重点プロジェクト、公園についてなどなんでも何かご意見

あれば。

(会長)

要望を1点。花火について、宝童寺池で今年も冬に行う。ポスターを見ると丸亀市は3,200発。郡家は最後なので5,000発上げる。市のご協力をいただけたらありがたい。

(市長)

いろいろ聞くところによると、行政と一緒にやるとなると警察がものすごく厳しくなる。なので、港で実施していたものが出来なくなった。出来ることに限りはあるが、やっていこうと思っている。

(所長)

それでは時間が参ったので、「令和6年度みんなでまちづくり。市長と語る会」を終わりとする。本日はありがとうございました。